

「第1回 大村知事と語る会－あいちの花の需要拡大に向けて－」(平成25年7月29日開催)主なご提言に係る県の対応

主なご提言の要点	県の対応
花に全く興味がない人に、いかに花や植物と接する機会を増やしていくかが重要。	平成26年度(平成27年3月下旬)には、名古屋市を中心市街地を会場として、誰でも気軽に花を愛で、花と緑に接することができる無料イベントである「フラワー・ガーデニングショー(仮称)」を開催する。
愛知県が開催する、花と関係のないイベントでも、愛知の花をPRしてはどうか。	平成26年3月7日から9日に開催された「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」で次の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール地点を愛知の花で飾り、参加者、観戦者の記憶に残るフラワーロードを演出。 ・マラソンEXPOにおいて、愛知県ブースの装飾や花男子のパフォーマンスにより愛知の花をPR。 平成26年度は、「花の王国パートナーシップ事業」でマラソンフェスティバルに加え、ESDユネスコ世界会議、技能五輪全国大会でも「あいちの花」を会場内で展示し、「花の王国」をPRする。
職場にも緑を置いて、花に接する機会を増やしていくべき。	平成25年度は、「花いっぱい県民運動」において、職場での花の装飾等に取り組む「サポート企業」を募集し、応募のあった企業等に認定プレートを渡すとともに、それらの取組についてホームページ等でPRする予定。平成26年度も、この取組を継続する。
職場に花があれば、女性は笑顔になり職場に活気が出る。	
母の日以外でも、「大切な人に花をプレゼントすることはいいことだ」ということをもっとPRすると良い。	平成26年2月8日に、バレンタインデーに花を贈る習慣の定着を目指して、名古屋市内で「フラワーバレンタイン2014」キャンペーンを実施した。
花を贈るいろいろなイベントがあることをもっと周知して、花を贈るきっかけをつくると良い。	平成26年2月6日から9日に名古屋市内で開催した「フラワーマルシェ」では、「フラワーバレンタイン」の普及イベントとして花男子による、男性から女性へ花を贈るパフォーマンスを実施した。
愛知県には腕のいい生産者がたくさんいるので、彼らが育てた愛知の花を県外の人にもっと知ってもらいたい。	平成26年1月31日から2月2日に、「関東東海花の展覧会」を開催し、特別展示や品評会への出品を通して、首都圏にあいちの花のすばらしさを伝えた。
県から何らかのメッセージを発信すれば、消費者も花を買う理由、きっかけができる。	平成25年11月1日から4日に西尾市で開催した「あいち花フェスタ2013」において、知事からのメッセージをパネルで設置した。 <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージ:～「花の王国あいち」の更なる発展に向け、暮らしに花を取り入れましょう～